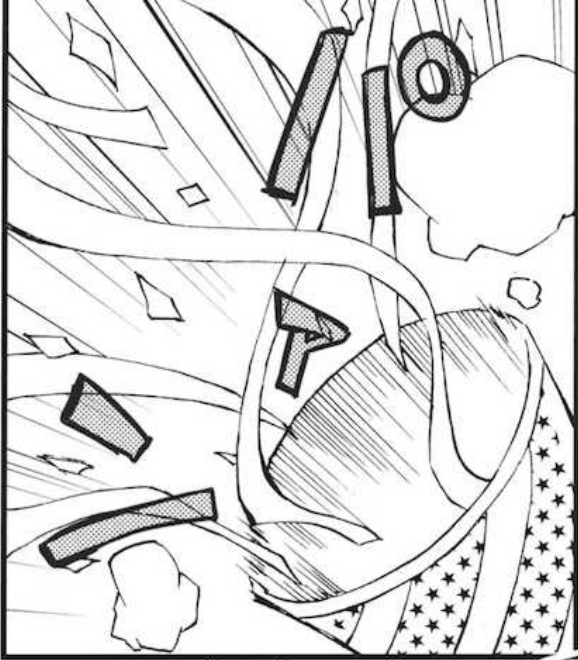


姉者のおくりもの!!





紅魔館



お姉さま

メリー
クリスマス！



あー？

あらお姉さま
知らないの？

今日は
クリスマス

サンタが
プレゼントを
持ってやって
来るのよ！

知ってるけど
間違ってるわよ
フラン

今日はイヴよ



それにいつも
言ってるでしょ

クリスマスって言うのは
宗教的意味合いの強い
お祝いの日



家畜に……
じゃなかった

**悪魔に神は
いないツ!!**

初耳だわ

つぎは
長いほど





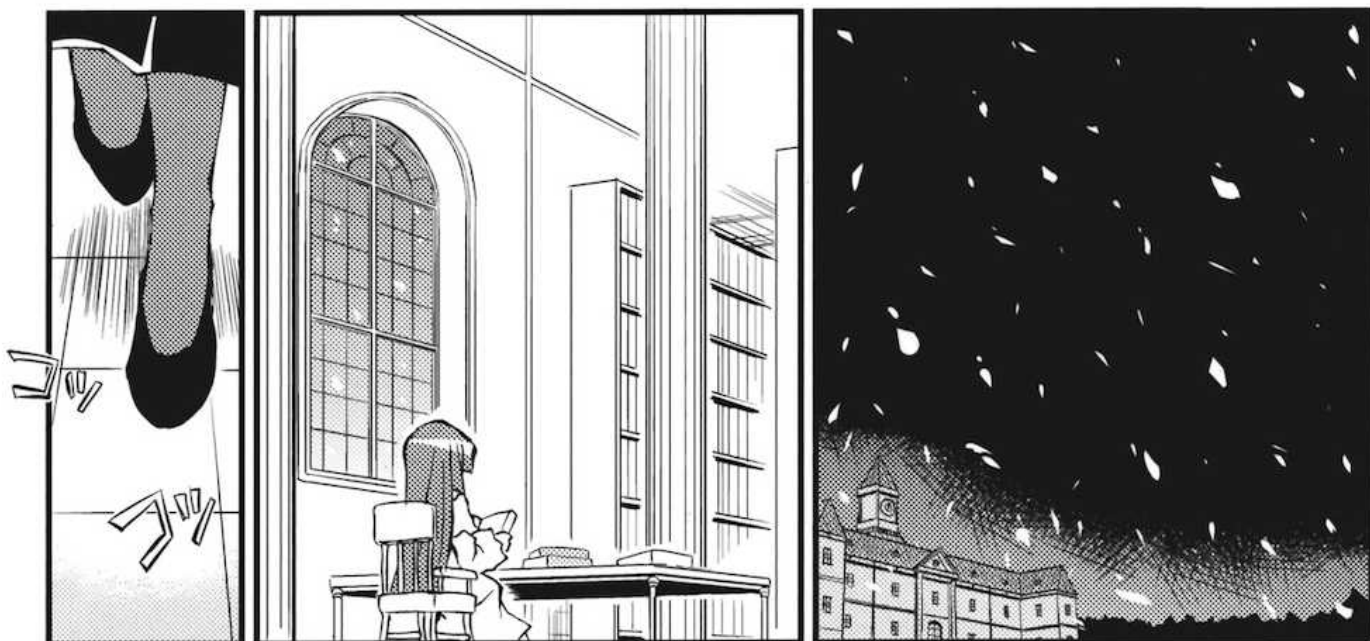














本もちゃんとの
片付けられたの
です

サンタクロースが
来るから早めに
寝るんだって

ええ
ついさっきね

お部屋に
戻られたの
ですか？

先程まで妹様も
いらつしやつたと
思ったのですけど…

そう
でしたか

コトッ



サンタさんは
お見えに
なりますかね？

で
みたい
ねい

…よつぽど
今夜を楽しみに
しているのね



ま
大丈夫でしょ

レミイは
あれでも結構
面倒見は
良いからね

特に今回は
相手が妹様だし

ハリー長じや
なかつたけど







働き者の
助手へのね

クリスマス
プレゼントよ



自分の分
だけに
しときなさい

これからは
パチユリー様の
分まで日記
書きますね!!

あああ
ありがとうございます！
大事に
します!!



ねえ咲夜

別にこんな格好までしなくていいんじゃない？

いえお嬢様
こういうのは
まず形から
入るものですわ

とても良く
お似合いですよ

そーお？

もし不服でしたら
このような
付け髭もご用意
したのですが

絶対
いらないわ

もく

もく

一応サンタに
ついでに
ご説明いたし
ましようか？

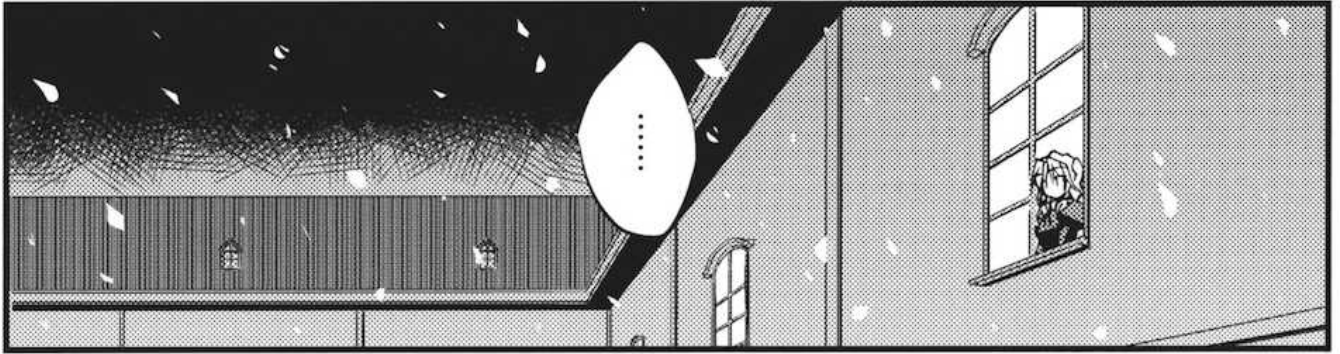
あー
わかってるよ

あいつの枕元に
これ置いてくりや
いいんでしょ

ええ
流石
ですわ

妹様はもうお休みに
なつてますので
起さないようにだけ
ご注意ください

へーへー



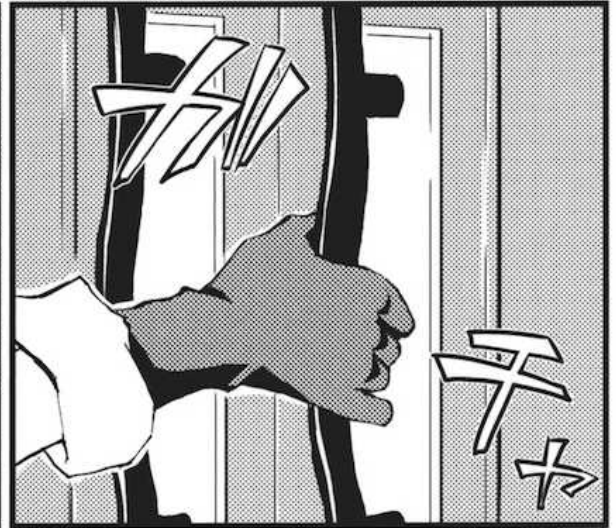


私も私か

こんななりを
してる



ま





あー
寒いなー

こんな夜は
仕事なんか
ほっといて
暖かいところで
豆板醤でも
飲みたいなー



思っ
て
思っ
て
で
し
よ
う
?

思っ
て
ま
せ
ん

とーんたん
飲みのせいか
かこい



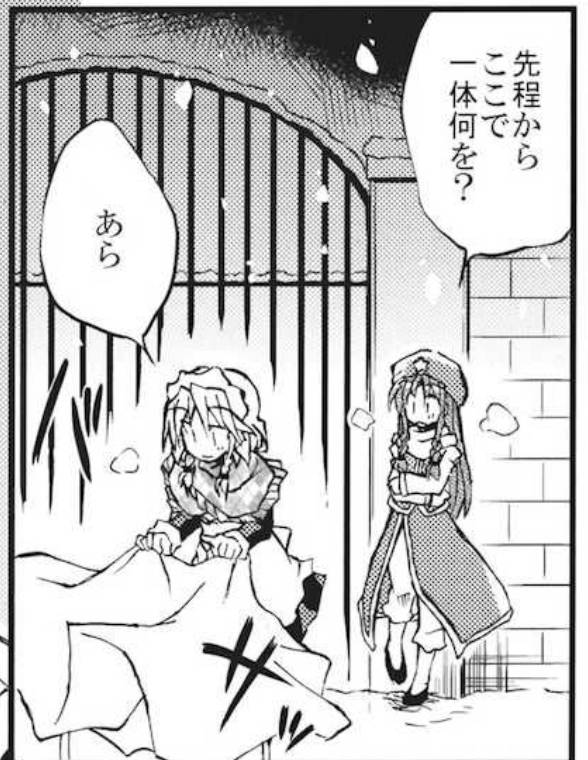
そうね
珍しく
どういう
風の吹き回し
なの?
二の壱
女中のせいかな

フフフそれは
ですなー



もー咲夜さん
今日はちゃんと
真面目に
やってるんだから

ほめて
くださいよっ





あの…
咲夜さん一つ
いいですか

何々？



身体も結構
鍛えてるし

あら美鈴
私寒さには
強いんだよ



ええ
身体が温まる
でしょう？

そうですが…
ここですか？
寒くない
ですか？

余計に



…手温かいのね
あなた

化粧のり
ヤメたニ

そんな寒そうに
しながら言われても
説得力無いです
ほんまに冷たい

と

ひ。



だからほら
咲夜さんは
中に戻った
方が

これは
鍛えてる者の
掌ですよ!!

いいのよ

トク

だって折角
やる気出して
る門番を

中に連れ込んで
お茶するわけにも
いかないでしょ



咲夜さん…



いえ咲夜さんの
お誘いでしたら

地獄の果てまで
お供しますし!!

駄目
だってば

ナツメ



ほら中でお茶
入れてくるから
真面目に門番
しときなさい

任せて
ください!!

サシタマハ
とめしませんぬ!!





そういえば
咲夜さん



ああ
あれね…



妹様への
プレゼントの
何だったの
ですか？

咲夜さんが
用意されたの
ですよ



プレゼント
というか
手紙には…

“ほしいもの”
じゃなくて
“ねがいごと”
が書いてあったの

願い事
…ですか？

ええ
それもすごく
単純なことよ



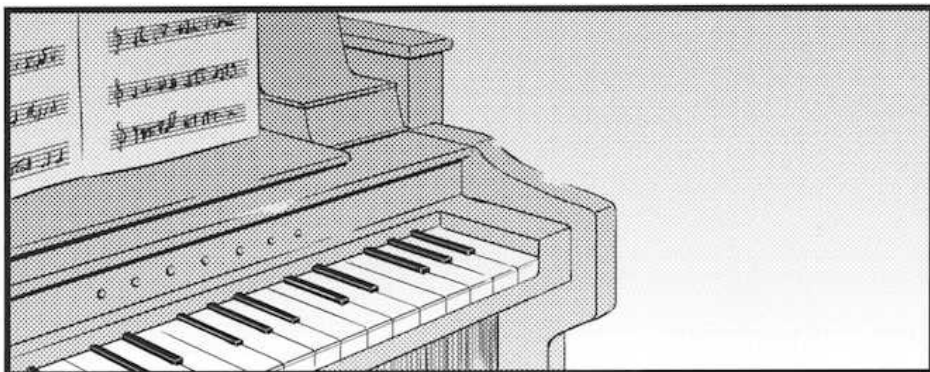
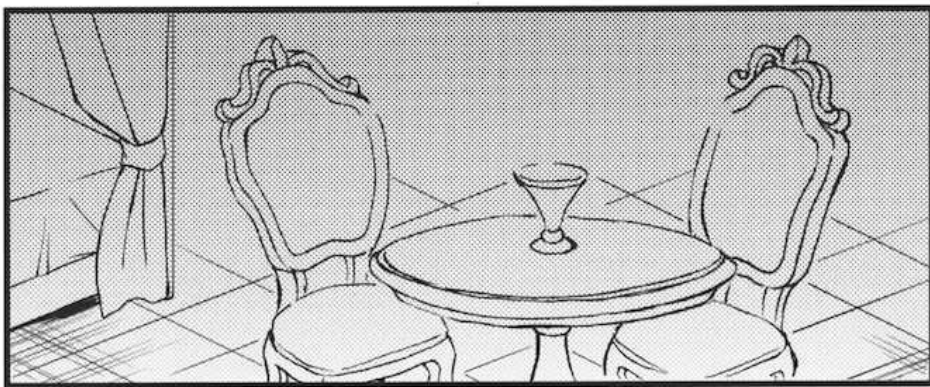
本当に
単純なこと
なんだけど

ね



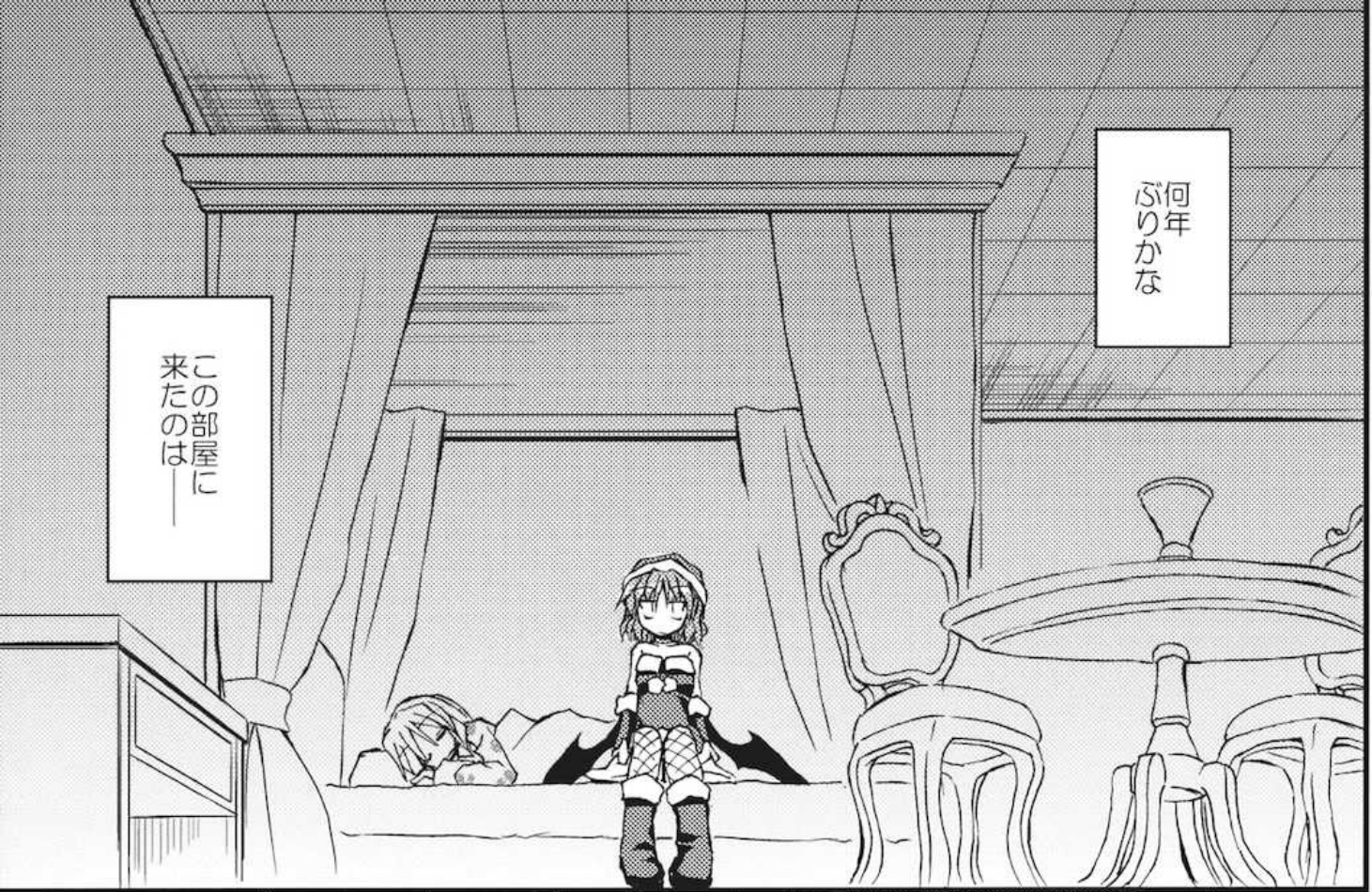
それを
わざわざサンタに
頼んだのですか？

妹様にとっては
それくらい大きな
ことだったのかも



何年
ぶりかな

この部屋に
来たのは――



何年…？
何十年…？
それ以上か？

確かあの時は
もっと――



ねえ
お姉さま

だってお姉さまが
くれるおもちゃ

ちゅん

壊れちゃうん
だもの

私もっと
丈夫なおもちゃが
ほしいのだけど



今年は私
よりも
良い子に
なりたい
から

きっとサンタも
来てくれると
思うの!

すぴ



良い子に
ね



しばらく
見ないうちに

すいぶん
綺麗な部屋に
なったものね

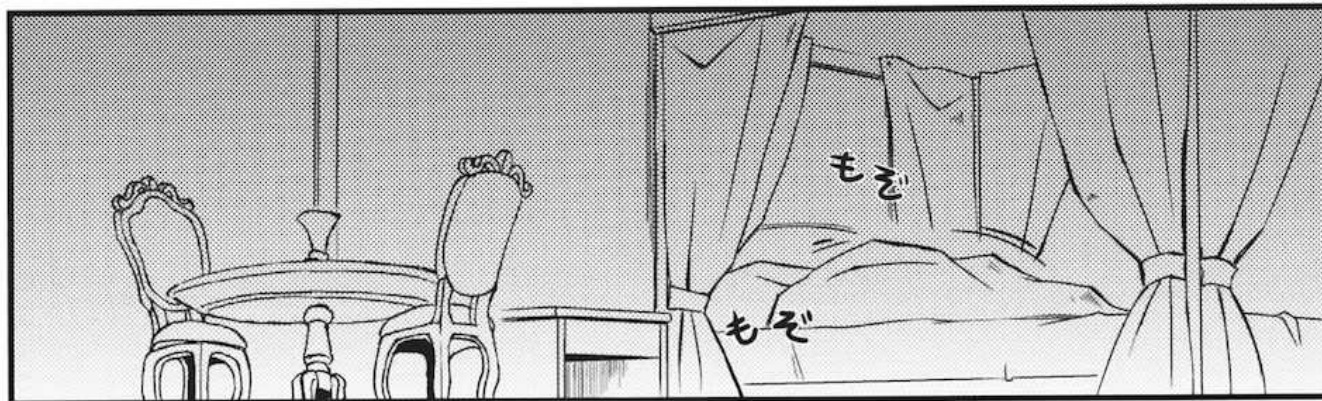
かなた
ノゾミ

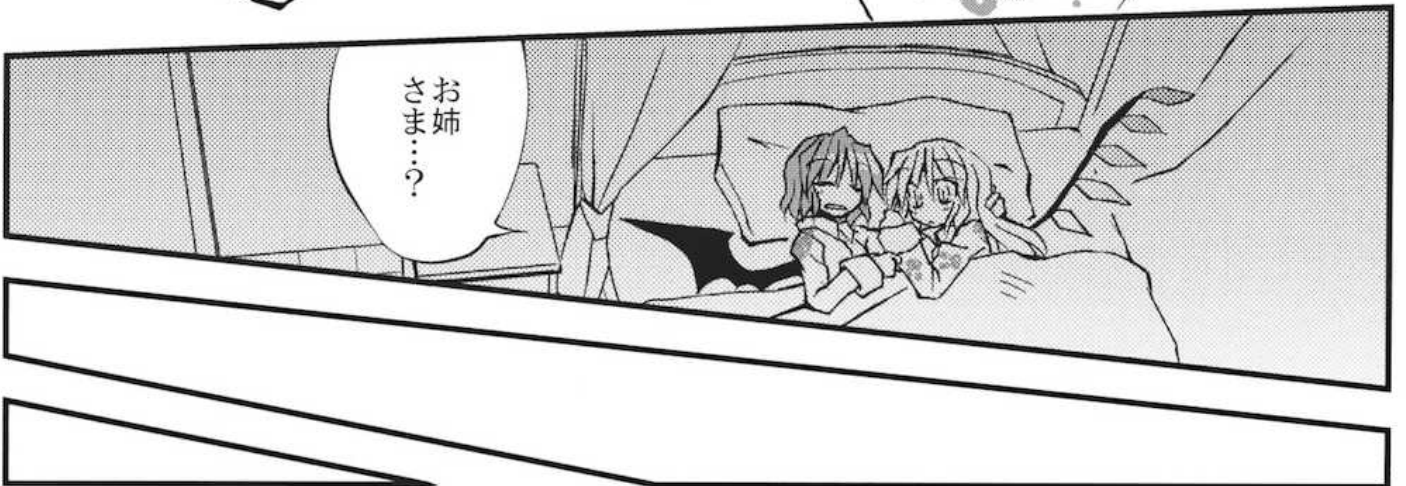
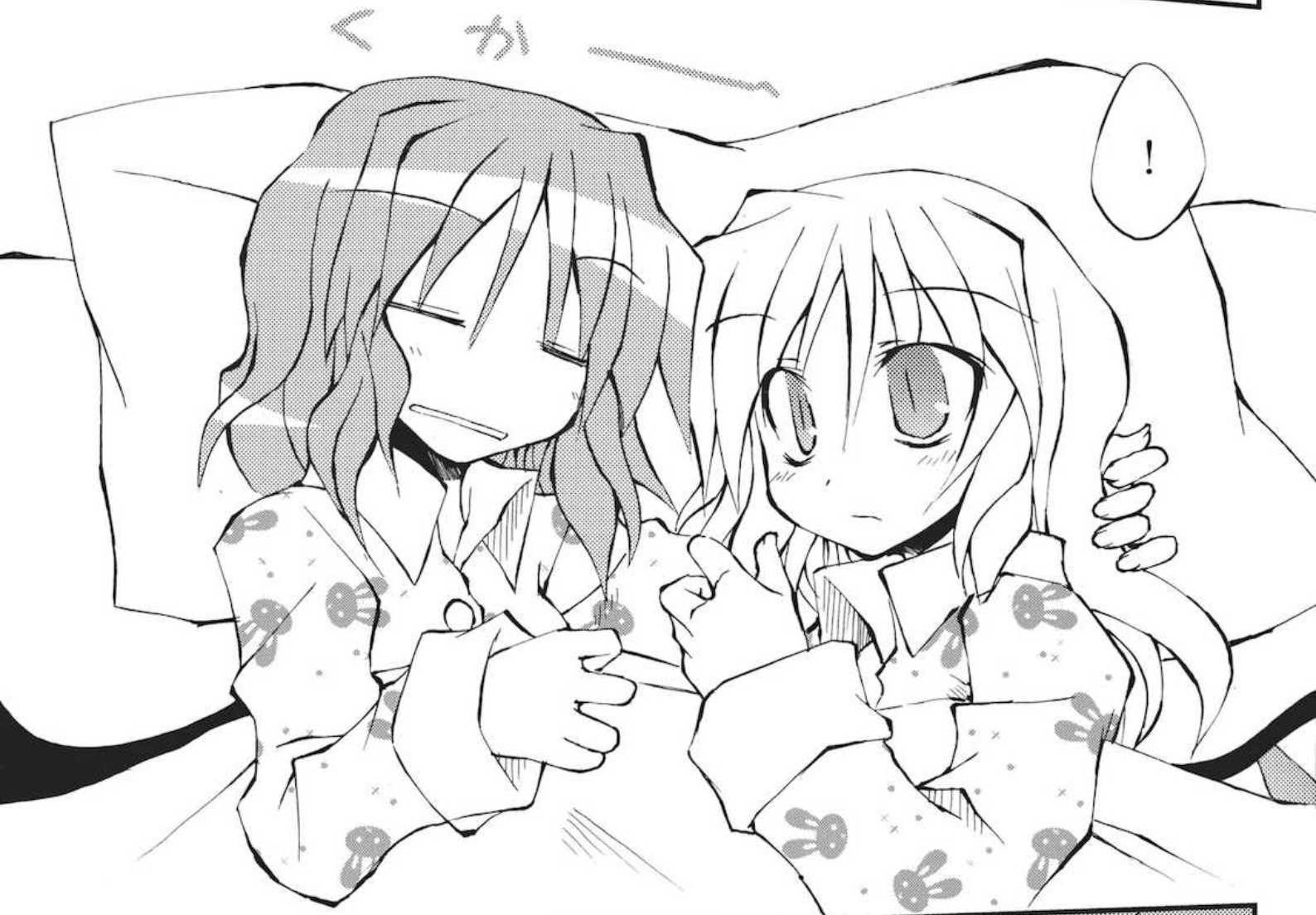
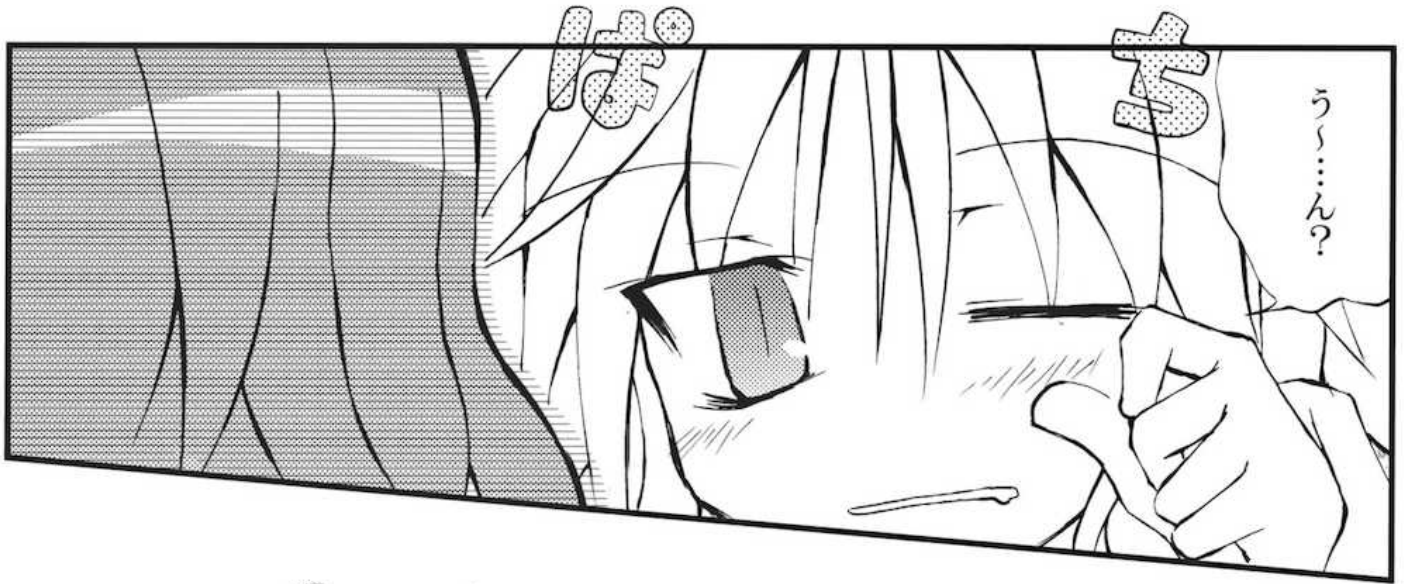
いつの間に

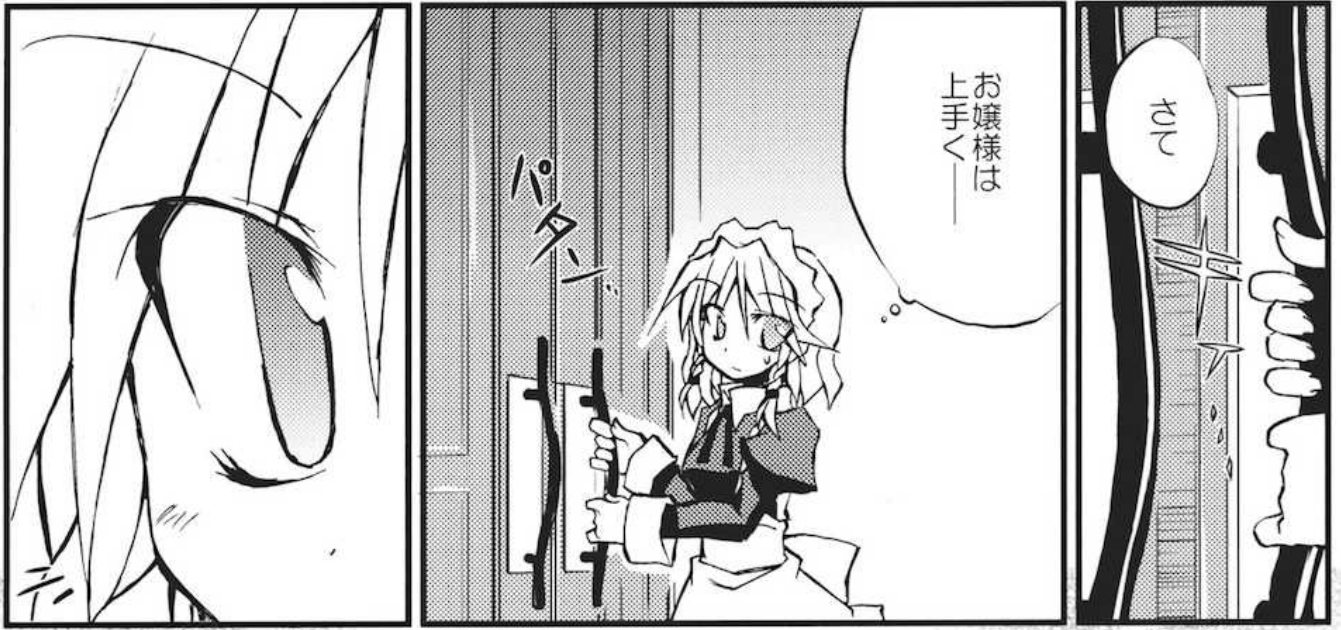
そんなに
成長したのよ？



フランドール？











翌日

お姉さま

メリー
クリスマス!!



あー?





どうやら
サンタは

私のところにも
寄ったみたいね

に



それは
良かったわね

そう

おわり



□あとかき

おつかれさまです！さとうきびです！
世間はもう完全にクリスマスモードということだね！ ねっ！！
今回の本はクリスマスネタで描いてみました。いかがでしたでしょうか。
いやーもうホントクリスマスだからなー周辺が！クリスマスあふれちゃってるからなー！！

このあとかきが読まれるその時がクリスマスであるという可能性はいくらだ！
千に一つか万に一つか！億か兆かそれとも京か！
例えそれが那由他のよし疲れた。

とりあえず内容に関してはあんまり補足すべき体力が無いので
読んだままを感じていただければと思ってます！
あーパッチェさんのうなじが見てーなー。ホントに見てーわー！

て、なんか前にもサンタ本描いてたような気がしますね。デジャヴ。
あの頃と微妙に組み合わせが違ったりもするのですが、紅魔館メンバーはみんな仲良いので
誰が組んでもほんわかしてる…とかいう感じだと嬉しいですね！

あーパッチェさんの溜め息が吸いてーなー。ホントに吸いてーわー！

そんなわけで今回はこの本を手にとっていただき誠にありがとうございました！！
また次の本でもお会いできることを心より！！
今年もいろいろとがんばります！（クリスマスさんが回グアウトしました）

描いた人：さとうきび

姉者のおくりもの！



■奥付■

【発行日】
2010.12.30

【印刷所】
サンライズパブリケーション

【発行】
「粟米湯」
<http://sumitan.sakura.ne.jp/>

本書の無断転載を禁じます。

